

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 台風第4号については最新の台風予報を参照。
- 17日は、高気圧が日本の東へ移動し、低気圧が東シナ海に進む。
- 18日から19日にかけて、低気圧が北海道付近を通過して千島の東へ進む。高気圧が黄海から日本海へ移動する。東シナ海の低気圧は弱まり、次第に不明瞭となる。
- 20日から21日にかけて、高気圧は日本の南東海上へ移動し、低気圧がアムール川下流付近から千島近海へ進む。

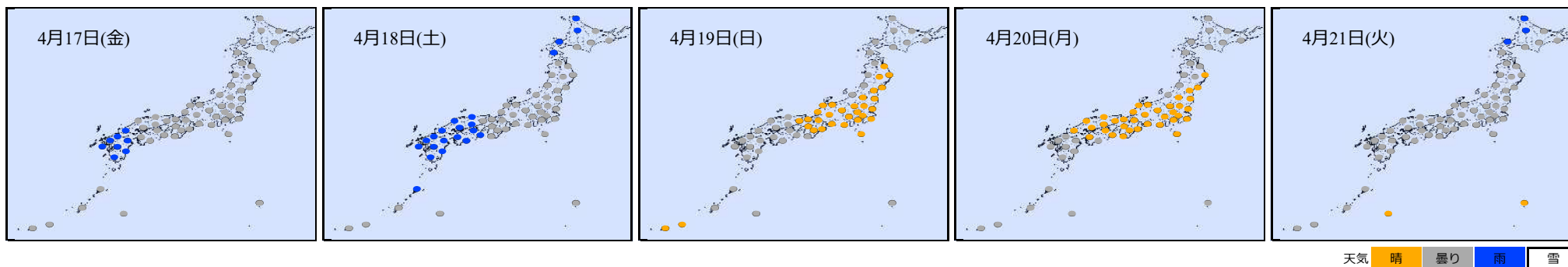
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

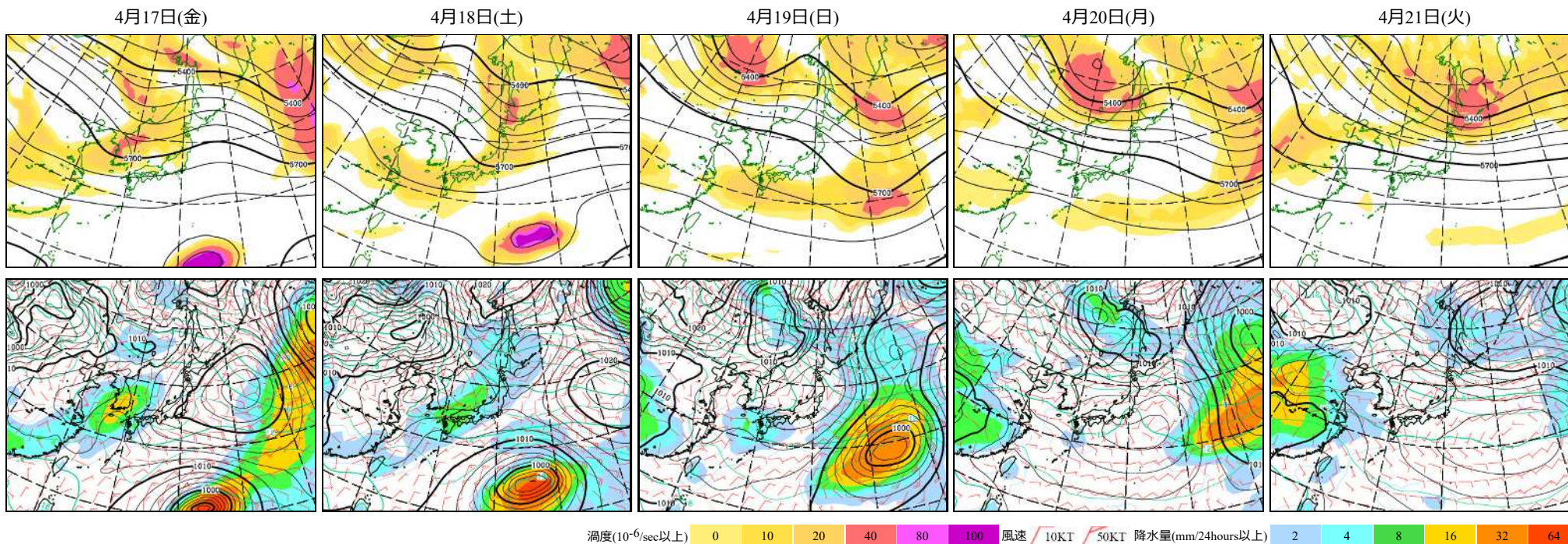
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

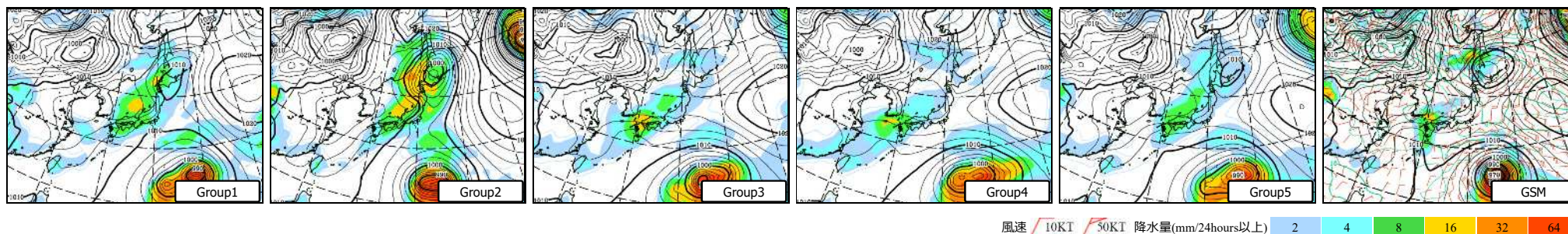


- 北日本は、曇りまたは晴れの日が多いが、18日と21日は雨または雪の降る所がある。
- 東日本は、曇りまたは晴れの日が多い。
- 西日本は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、17日と18日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、18日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月18日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、18日に北日本に進むトラフが深くなった。地上の気圧配置は、18日はオホーツク海に進む低気圧が明瞭になった。
- 18日に北日本に進むトラフについては、初期値変わりが大きいモデルもあるが、その結果、モデル間の差は小さくなった。19日から21日にかけてもモデル間の差は小さい。
- 18日に北海道付近に進む低気圧については、GSMとECMは北海道の北付近に予想するが、NCEPは千島近海に予想する。ENSは、各モデルに近いメンバーを含むが、千島近海に予想するメンバーが多い。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。